令和元年度

海 外 研 修 事 業

令和２年２月

公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団

目　　次

Ⅰ．令和元年度海外研修事業実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1

(1)　第 47 回　海外研修の実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2
(2)　第 47 回　個別研修プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3～5
(3)　第 47 回　海外研修報告会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.6
(4)　第 47 回　海外研修報告会出席者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.7

Ⅱ．資料編　（昭和 45 年～令和元年）

(1)　海外研修生 合同研修・個別研修実施実績 ・・・・・・・・・・・・・・・ P.8～9
(2)　海外研修生 個別研修訪問国実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.10～11
(3)　海外研修生 所属施設種類別・職種別人員実績・・・・・・・・・・・・ P.12
(4)　海外研修生 県別人員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.13

Ⅰ．令和元年度 海外研修事業実施状況

諸外国の福祉施設等における実習を通じて、専門的な知識・技能を習得し、我が国の社会福祉サービスの向上に資することを目的に、民間社会福祉施設等の直接処遇職員を募集（令和元年.5.7～7.31）、選考審査（応募書類、面接）を経て選抜、アメリカ合衆国カリフォルニア州における 5 日間の合同研修を修了後、約 2 か月間にわたる個別研修を実施。

＜海外研修応募書類＞

①応募調書
②履歴書
③研修テーマ
④所属施設長の推薦書
⑤英検･TOEIC 等の成績証明書の保持者はその写し
⑥施設のパンフレット

＜受講者資格＞

①民間社会福祉施設等に勤務する直接処遇職員
②27 歳以上 55 歳以下の者
③社会福祉施設における業務経験が通算 5 年以上及び引続き福祉業務を続ける意欲のある者
④日常英会話能力を有する者

(1) 第 47 回生 海外研修の実施概要

1．合同研修期間：2019 年 4 月 22 日（月）～ 4 月 26 日（金）

・合同研修実施の委託先である、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコにて、4 月 22 日から 4 月 26 日の 5 日間合同研修を実施、合同研修修了後の 4 月 27 日から個別研修をスタート。

2．研修生（3 名）

①村島　千文（鳥取県 在職年数：20 年）

所属・職種　：社会福祉法人ひかり福祉会 ひかり保育園　保育士

研 修 テ ー マ：北欧の幼児教育における表現活動の理論と実践に学ぶ

個別研修期間：2019 年 4 月 27 日～2019 年 5 月 22 日

個別研修国　：フィンランド、デンマーク

②川邉　真歩（北海道 在職年数：7 年）

所属・職種　：特定非営利活動法人ピスカリ　作業療法士

研 修 テ ー マ：乗馬療育における作業療法士の役割

個別研修期間：2019 年 4 月 27 日～2019 年 6 月 19 日

個別研修国　：アメリカ、オーストリア、ドイツ、アイルランド

③末永　美紀子（兵庫県 在職年数：18 年）

所属・職種　：特定非営利活動法人こどもコミュニティケア
障碍児通所支援事業 て・あーて　看護師・保育士

研 修 テ ー マ：0 歳から高齢者まで暮らしを支える地域ケア

個別研修期間：2019 年 4 月 27 日～2019 年 6 月 20 日

個別研修国　：アメリカ、ブラジル、オランダ、スコットランド

(2) 第47回生 個別研修プログラム（概要）

氏名	村島　千文					
所属	社会福祉法人 ひかり福祉会　ひかり保育園　園長補佐					
合同研修	アメリカサンフランシスコ　(4/22～4/26)					
	国	期間	施設名/都市名	施設の種類	研修内容	研修成果と施設への活用・導入方法等
４月	フィンランド	4/27～5/11	annantalo arts center/ヘルシンキ	アートセンター	アートセンターの幅広い年齢を対象にした実践について知り、最新の指導方法や作品製作の手法、アートを支援する適切な環境設定について学ぶ	クレイアート、ボタニカルアートの指導方法や作品展開の手法などについて学ぶことが出来た。自園の指導や絵画・造形講座の指導内容に繁栄して行きたい
			Vuorenmäenpäivä koti/キルッコヌンミ	複合保育施設	小学校と共に運営される保育施設における小学校への接続を視野に入れた表現教育活動の理論と実践について学ぶ	メディアリテラシーの具体的な手法について学ぶことが出来た。動画を活用したドキュメンテーションの方法など、日本の保育所で導入可能なものから取り入れて行きたい
５月			Mistelin päivä koti/ヴァンター	保育施設	自然環境を取り入れた表現教育の方法や感覚を表現に展開するプロセスやその方法などについて学ぶ	職員研修を体験し、子どもの感覚を表現に展開する援助の方法を学ぶことが出来た。園内研修、保育団団体の研修などで手法や考え方を紹介して行きたい
			Kylätlo Pa l ttina　päivä koti/エスポー	住民公園と併設の保育施設	住民公園（子育て支援、学童支援施設）との共同運営施設における乳幼児、学童、保護者までを視野に入れたアート環境の理論と実践を学ぶ	効果的な作品展示の方法、年齢を踏まえた環境設定の方法、ポートフォリオ作成の事例などについて学ぶことが出来た。絵画・造形講座の指導に反映して行きたい
			villa arttu center for cildren and youngpeople/ヒュヴィンカー	アートスクール	アートセンターの幅広い年齢を対象にした実践について知り、最新の指導方法や作品製作の手法、アートを支援する適切な環境設定について学ぶ	プロジェクトスタイルの作品製作の具体的な手法や立体造形の展開について新たな知見を得た。自園の活動に取り入れながら、研究を進めて行きたい
			Porvoo Art School/ポルボー	アートスクール	アートセンターの幅広い年齢を対象にした実践について知り、最新の指導方法や作品製作の手法、アートを支援する適切な環境設定について学ぶ	共同制作の実例や指導方法、画材の展示を含めた効果的な環境設定などについて学んだ。自園の環境設定に取り入れるとともに、研修などの機会を捉えて広く紹介して行きたい
	デンマーク	5/12～5/22	NordfynsfØ jskole/ボーゲンセ	フォルケホイスコーレ	フォルケホイスコーレのSOSUサブジェクト授業に参加し、デンマークの福祉の概要を学ぶ	デンマークの福祉、教育の考え方について実際の議論に参加しながら体験を通して学ぶことが出来た。論理的思考の方法など職員研修にも取り入れて行きたい
			Remida Center Odense/オーデンセ	アートセンター	レミダのリサイクルを活用した方法論について理解を深め、最新の指導方法や作品製作の手法、アートを支援する適切な環境設定について学ぶ	レミダのコンセプトについて理解を深め「廃材」をアートに転用することの意義を学ぶことが出来た。節約とは違うリサイクルの価値を自園の活動にも取り入れて行きたい
			Velkommen til Lille Dalby/ヘデンステット	保育施設	自然物の活用など、身近な自然を保育に取り込むリサイクルの方法や展示の在り方について学ぶ	保護者を巻き込んだ自然物のリサイクルシステムなど、日本の保育所にも導入しやすい方法を学ぶことが出来た。積極的に活用して行きたい
			Bifrost/GAIAMuse um OutsiderArt/ラナース	美術学校・ミュージアム	アウトサイダーアートの製作の現場を視察し、福祉とアートの関係性を学ぶ	アウトサイダーアートを支える環境の整え方や柔軟な指導体制は保育の場面に大いに参考になると感じた。自園の活動に取り入れながら応用の方法を研究してみたい
計 32 日			訪問国 3 カ国　　訪問施設 10 カ所			

氏名	川邉　真歩					
所属	特定非営利活動法人ピスカリ　作業療法士					
合同研修	アメリカ サンフランシスコ　(4/22～4/26)					
	国	期間	施設名/都市名	施設の種類	研修内容	研修成果と施設への活用・導入方法等
4月	アメリカ	4/27～5/9	J.F.Shea Center/ San Juan Capistrano	乗馬療育施設	作業療法士、理学療法士、言語聴覚士が乗馬療育を提供している施設で、各職種における役割や具体的な介入方法、乗馬療育に使用する馬具や道具の工夫、環境整備、安全面への配慮、人材育成について学ぶ	作業療法士、理学療法士、言語聴覚士といった専門職や多くのボランティアが関わる乗馬療育の中で、システム化されたチーム体系を学んだ。各専門職のアプローチ方法や情報共有方法などを導入。また、作業療法における様々なアクティビティを用いたアプローチ方法を活用していく
5月	オーストリア	5/11～5/19	e.motion/ Wien	乗馬療育施設	心理・教育的視点における乗馬療育、Hippotherapy、馬を介在した作業療法、スポーツやレクリエーションとしての多角的な視点での乗馬療育。病院や学校と連携した幅広いプログラムついて学ぶ	馬を介在した作業療法で使用していたプログラムや道具、環境設定について学んだ。当法人の乗馬療育で使用する道具や環境設定について検討し、反映する。また、作業療法的視点で見たアプローチ方法を意識して取り入れていく
	ドイツ	5/20～5/24	Reittherapeutisches Zentrum Meierhof/ Kürten	乗馬療育施設	発達障がいをもつ子供たちの乗馬療育プログラムにおいて、どのような評価やレッスン、道具を使用しているのか学ぶ	発達障がいの子供たちに対する多様なアプローチ方法やスタッフ間同士でのコミュニケーションについて学んだ。レッスン内容を職員と情報共有し、今後のプログラム展開への検討を行う
		5/25～5/29	Bethel.regional Therapeutisches Reiten/ Bielefeld	乗馬療育施設	教育的視点からみたセラピストと子供たちや馬との関わり方や知的障がい、精神障がい、高齢者など様々な困難を持つ方に対して、馬を介在した支援がどのような効果や反応が得られるのかを学ぶ。	心理・教育的視点での乗馬療育やHippotherapy、そして乗馬以外の馬を介在したアプローチ方法や就労に向けたプログラムについて学んだ。利用者に合ったプログラムの選択や多様なプログラムがあることを意識しながら、利用者への乗馬療育のプログラム内容に活かしていく
		5/30	Vinzenwerk Handorf e.V./ Münster	乗馬療育施設	グループホームで生活する子供や青少年を対象として、心理・教育的な視点で乗馬療育を提供している施設にて、馬を介在した活動のアプローチ方法を学ぶ	心理・教育的プログラムを行う上での環境設定について学んだ。このことをヒントに、使用する道具にネームを付けるなど利用者にとって分かりやすい工夫や環境設定を取り入れる
6月	アイルランド	6/1～6/18	Festina Lente/ Bray	乗馬療育施設	馬を介在した教育・就労、治療的なプログラムのそれぞれの特徴や工夫を学ぶ	学校と連携した馬を介在した支援プログラムや就労に向けた馬関連のトレーニング等、様々なプログラムの活用方法を学んだ。就労に関するプログラムの導入の検討や、他機関との連携のために、乗馬療育の知識や効果を普及していく
計 60 日		訪問国　4カ国　訪問施設　6カ所				

氏名	末永　美紀子					
所属	特定非営利活動法人こどもコミュニティケア　障害児通所支援事業　て・あーて					
合同研修	アメリカサンフランシスコ（4/22～4/26）					
	国	期間	施設名/都市名	施設の種類	研修内容	研修成果と施設への活用・導入方法等
4月	アメリカ	4/27～5/8	RHD: Family Health & Counseling /Philadelphia	地域ケア非営利組織	ナースプラクティショナーによる診療所と付属施設の視察プロジェクト運営や課題についてディスカッション、実態を学ぶ	【成果】自主運営の採用やチーム運営。会議の持ち方、ヒエラルキーや役職権限に頼らないプロジェクト型経営の在り方 【活用】プロジェクトを自主運営するためのチーム人数の上限,採用方法、会議のグランドルール作り、自組織のバリューを言語化チームの再編成
5月			RHD:Behavioral Health&Housing Division /Philadelphia	地域ケア非営利組織	主に在宅ケアやソーシャルワークを多職種、他施設との連携で行うチームマネジメント・会議運営についてインタビュー、実情を知る	
	ブラジル	5/10～5/14	Monte Azul/ São Paulo	地域ケア非営利組織	認可保育施設・小学校ボランティア参加　助産所・認可外幼稚園・障害者デイサービスを視察、コミュニティ・ミーティングへ参加、実態を検証	【成果】新設プロジェクトや施設へのイニシアティブを採る職員のチーム編成　集団による意志決定のためのプロセス　寄付の仕組みを知る 【活用】寄付・ボランティアの仕組みの導入、対面会議の意図的な設定
		5/15～5/19	Horisent Azul/ São Paulo	地域ケア小学校運営 非営利組織	コミュニティの運営（人材・経済・ボランティアマネジメント・会議運営）についてインタビュー、ボランティアへ動機や生活、滞在費用捻出方法ややりがいについてインタビュー、実情を知る	【成果】コミュニティ形成とプロジェクト管理を推進する人材育成と会議運営の仕方 【活用】イニシアティブをとれる職員やボランティアを中心としたチーム運営
	オランダ	5/21～6/8	Buurtzorg/ Doorwerth, Zoetermeer, Scheveningen	訪問看護	訪問看護への同行/実習　チーム会議の視察、看護師へのインタビューにて実情を学ぶ	【成果】自主運営するための意図的なチーム編成　多様な働き方を可能とするシフトおよびICTシステムとケア職員の現任教育 【活用】小規模チームへの再編チーム内のメンバー意識の醸成
		5/28	Kinderhospice Binnenveld/ Binnenveld	医療的ケア・障害児のレスパイトケア施設	施設視察、ディレクターから建物の各機能の意図や運営、寄付オランダの医療的ケア児の在宅療育の現状についてに説明を受け、実態を検証	【成果】医療的ケア児者のレスパイトケア施設の重要性と希少性 【活用】子どもひとり１台ワゴン運用、子どもと家族のリラクゼーションルームおよび職員用の休憩・瞑想空間などの確保
			De Monnikskap/ Nijmegen	障害児を受け入れる中高一貫校	生徒中心のケア・教育および自己決定を促すためのメンターシステム・個別カリキュラム、通学や生活にわたる支援方法を学ぶ	【成果】生徒の自己決定を促すための仕組み、ITの活用、しなやかなカリキュラムづくり 【活用】個別計画の重要性と生徒・親の自己決定プロセスへの支援
	スコットランド	6/9～6/19	Newton Dee／ Aberdeen	知的障害者と健常者の共同コミュニティ	組織マネジメントへのインタビュー、各種工房・高齢者施設の視察　職員へのインタビューおよびディスカッションにて実態を検証	【成果】障害者や家族と共につくるコミュニティやサービス　持続可能な体制をつくるための組織風土の醸成 【活用】ボランティアや研修生の研修プログラム作成　無資格者の資格取得を支える仕組み
計61日		訪問国　4カ国　　訪問施設　8カ所				

(3) 第 47 回生 海外研修報告会の実施

１．開催日時：2019 年 10 月 26 日(土)　13：00～17：00

２．場　　所：京都テルサ

３．報 告 者：2019 年度 47 回生の研修生 3 名

４．来　　賓：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課　鏑木 奈津子氏

５．研修報告

① 13：20 ～ 14：00　　村島　千文
社会福祉法人ひかり福祉会
ひかり保育園　主任保育士

② 14：05 ～ 14：45　　川邉　真歩
NPO 法人ピスカリ
乗馬療育事業所ピスカリ 作業療法士

≪　休憩　10 分　≫

③ 14：55 ～ 15：35　　末永　美紀子
NPO 法人 こどもコミュニティケア
障害児通所支援事業て･あーて 看護師･保育士

≪全般についての質疑応答　15 分　≫

【特別講演】　16：00 ～ 17：00

厚生労働省 社会・援護局　地域福祉課
包括的支援体制整備推進官　鏑木　奈津子 氏

「地域共生社会の実現に向けた
包括的な支援体制の整備について」

(4) 海外研修報告会出席者

ご来賓 (特別講師)	厚生労働省 鏑木 奈津子	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 包括的支援体制整備推進官

研修報告者-1	47回研修生 村島　千文	社会福祉法人ひかり福祉会 ひかり保育園 保育士	鳥取県
研修報告者-2	47回研修生 川邉　真歩	特定非営利活動法人 ピスカリ　乗馬療法作業療法士	北海道
研修報告者-3	47回研修生 末永　美紀子	特定非営利活動法人 こどもコミュニティケア 障害児通所支援事業 て・あーて　看護師・保育士	兵庫県

聴　講　者	所　　属		研修回	年度
辻村　泰範	(福)宝山寺福祉事業団 理事長	奈良県	5	S49
酒井　久江	(福)聖明福祉協会 参与	東京都	7	S51
鮫島己保子		大阪府	7	S51
荒 巻　操		東京都	9	S53
末 光　茂	(福)旭川荘 理事長	岡山県	10	S54
榎並　義弘		大阪府	20	H1
井村　令子	(福)真浄寺きくなみ保育園 園長	兵庫県	30	H13
樽井　康彦	龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 准教授	大阪府	31	H14
亀 田　司	特定非営利活動法人 木ここち 理事長	富山県	31	H14
樽井　雅子		大阪府	31	H14
谷口 博己	(福)みその 児童養護施設聖園子供の家 副施設長	神奈川県	39	H23
佐藤 治美	(福)基督教児童福祉会バット博士記念ホーム 副園長	東京都	39	H23
小島　愛子	特定非営利活動法人 ピスカリ　理学療法士	北海道	39	H23
中島　るみ	(福) 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター　作業療法士	大阪府	39	H23
吉本　信介	(福)旭川荘　いずみ寮 生活支援員	岡山県	41	H25
磯部　伸之	(福)アトリエ 理事長	神奈川県	42	H26
武 智　薫	医療法人ふらて会 地域包括ケア推進室　課長補佐 理学療法士	福岡県	43	H27
正木　陽子	(福) 神戸真生塾 児童養護施設神戸真生塾　児童指導員	兵庫県	44	H28
水野　里佳	(福) 愛徳福祉会 児童発達支援センターふたば 保育士	大阪府	46	H30
田川　雄一	(福) 守皓会 特別養護老人ホーム ありだ橘苑　生活相談員	和歌山県	46	H30
加藤奈津子	(福) 瑞祥 特別養護老人ホーム ビラ・オレンジ 管理栄養士、介護支援専門員	愛知県	46	H30
長峰まい香	(福) 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター	大阪府	令和2年 48回研修生	
上田　知恵	学校法人旭川荘 旭川荘厚生専門学院	岡山県		

事 務 局	畑山　光伸	(公財) 中央競馬馬主社会福祉財団　理事長
	西川　浩明	〃　専務理事
	山田　文夫	〃　事務局長
	萩原美代子	〃　企画・管理部

Ⅱ．海外研修 資料編

(1) 海外研修 合同研修・個別研修実施実績　(昭和45年～令和元年)

年　度	(回　数)	研修生(人)	合同研修 日　程	合同研修 研修地	研修期間(合同研修含)	個別研修期間
昭和45年	(第 1 回)	11	(合同研修は無)		3ヶ月	2/10～5/15
昭和46年	(第 2 回)	15	(合同研修は無)		↓	1/3～3/31
昭和47年	(第 3 回)	17	4/14 ～ 5/5	デンマーク	↓	5/6～8/18
昭和48年	(第 4 回)	11	3/30 ～ 4/21	デンマーク	↓	4/22～6/18
			4/30 ～ 5/7	イギリス	↓	5/8～6/27
昭和49年	(第 5 回)	13	3/29 ～ 4/11	イギリス	↓	4/12～7/17
			4/22 ～ 5/3	オランダ	↓	5/4～7/17
昭和50年	(第 6 回)	8	4/11 ～ 4/25	オランダ	↓	4/26～8/31
昭和51年	(第 7 回)	7	4/24 ～ 5/7	アメリカ	↓	5/8～7/16
昭和52年	(第 8 回)	8	4/16 ～ 4/30	アメリカ	↓	5/1～7/23
昭和53年	(第 9 回)	7	4/1 ～ 4/15	デンマーク	↓	4/15～7/10
昭和54年	(第 10 回)	10	4/20 ～ 5/4	デンマーク	↓	5/5～8/20
昭和55年	(第 11 回)	5	4/12 ～ 4/26	アメリカ	↓	4/27～8/6
昭和56年	(第 12 回)	7	4/25 ～ 5/8	アメリカ	↓	5/9～8/25
昭和57年	(第 13 回)	6	4/17 ～ 4/30	デンマーク	↓	5/1～7/31
昭和58年	(第 14 回)	8	4/16 ～ 4/29	デンマーク	↓	4/30～8/1
昭和59年	(第 15 回)	11	4/28 ～ 5/11	アメリカ	↓	5/12～8/19
昭和60年	(第 16 回)	6	4/13 ～ 4/26	アメリカ	↓	4/27～8/4
昭和61年	(第 17 回)	6	4/5 ～ 4/18	デンマーク	↓	4/19～8/20
昭和62年	(第 18 回)	7	4/25 ～ 5/8	デンマーク	↓	5/9～8/21
昭和63年	(第 19 回)	8	4/9 ～ 4/22	アメリカ	↓	4/22～8/31
平成元年	(第 20 回)	8	4/8 ～ 4/21	アメリカ	↓	4/22～8/4
平成 2年	(第 21 回)	11	4/28 ～ 5/4	デンマーク	↓	5/5～8/31
平成 3年		中止 (湾岸戦争)				
平成 4年	(第 22 回)	9	4/25 ～ 5/8	デンマーク	↓	5/9～8/30
平成 5年	(第 23 回)	9	4/3 ～ 4/16	アメリカ	↓	4/17～8/28
平成 6年	(第 24 回)	5	4/9 ～ 4/22	アメリカ	↓	4/23～7/26
平成 7年		中止 (制度再検討)				

年　度	（回　数）	研修生（人）	合同研修 日　程	合同研修 研修地	研修期間（合同研修含）	個別研修期間
平成 8年	（ 第 25 回 ）	5	4/12 ～ 4/26	デンマーク	2～4ヶ月以内	4/27～8/24
平成 9年	（ 第 26 回 ）	5	4/4 ～ 4/18	デンマーク	↓	4/19～7/26
平成10年	（ 第 27 回 ）	7	4/11 ～ 4/24	ア メ リ カ	↓	4/25～8/10
平成11年	（ 第 28 回 ）	6	4/9 ～ 4/23	ア メ リ カ	↓	4/24～8/8
平成12年	（ 第 29 回 ）	8	4/1 ～ 4/14	デンマーク	↓	4/15～7/31
平成13年	（ 第 30 回 ）	6	4/21 ～ 5/4	デンマーク	↓	5/4～8/20
平成14年	（ 第 31 回 ）	6	4/12 ～ 4/26	ア メ リ カ	↓	4/27～8/11
平成15年		中止 （イラク戦争）				
平成16年	（ 第 32 回 ）	6	4/9 ～ 4/23	ア メ リ カ	↓	4/24～8/8
平成17年	（ 第 33 回 ）	5	4/10 ～ 4/21	デンマーク	↓	4/22～7/8
平成18年	（ 第 34 回 ）	5	4/17 ～ 4/27	デンマーク	↓	4/28～7/16
平成19年	（ 第 35 回 ）	5	4/10 ～ 4/19	ア メ リ カ	↓	4/20～7/9
平成20年	（ 第 36 回 ）	5	4/8 ～ 4/18	ア メ リ カ	↓	4/19～7/9
平成21年	（ 第 37 回 ）	5	4/19 ～ 4/28	デンマーク	↓	4/29～7/17
平成22年	（ 第 38 回 ）	5	4/27 ～ 5/2	デンマーク	↓	5/3～7/18
平成23年	（ 第 39 回 ）	4	4/12 ～ 4/21	ア メ リ カ	2～3ヶ月以内	4/22～7/10
平成24年	（ 第 40 回 ）	4	4/9 ～ 4/13	ア メ リ カ	3週間以上 2ヶ月以内	4/14～6/11
平成25年	（ 第 41 回 ）	4	4/15 ～ 4/19	デンマーク	↓	4/20～6/14
平成26年	（ 第 42 回 ）	4	4/22 ～ 4/25	デンマーク	↓	4/26～7/13
平成27年	（ 第 43 回 ）	4	4/6 ～ 4/10	ア メ リ カ	↓	4/11～6/6
平成28年	（ 第 44 回 ）	2	4/11 ～ 4/15	ア メ リ カ	↓	4/16～6/10
平成29年	（ 第 45 回 ）	2	4/24 ～ 4/28	デンマーク	↓	4/29～6/24
平成30年	（ 第 46 回 ）	3	4/23 ～ 4/27	デンマーク	↓	4/28～6/24
令和元年	（ 第 47 回 ）	3	4/22 ～ 4/26	ア メ リ カ	↓	4/27～6/19
計 322 人						

(2) 海外研修 個別研修訪問国実績 （昭和45年～令和元年）

区分	アメリカ	カナダ	イギリス	フランス	西ドイツ（ドイツ）	スイス	オーストリア	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	デンマーク	スウェーデン	ノルウェー	フィンランド	アイルランド	ポーランド	ハンガリー	ユーゴスラビア	ポルトガル	ブルガリア	オーストラリア	ニュージーランド	インド	タイ	スリランカ	マレーシア	インドネシア	ケニア	スロベニア	メキシコ・ブラジル	ロシア	韓国	延人員	実人員
昭和45年第 1回	5	0	4		2	2						3	3		2																			21	11
昭和46年第 2回	8	0	5	1	7			1		4		4	4		2																			36	15
昭和47年第 3回	7	1	15	6	12	6	3	4		9	1	15	8	3	1					1				2	1									95	17
昭和48年第 4回	7	0	7	3	6	5		2				5	3	1	2																			41	11
昭和49年第 5回	6	0	10	1	5	5	2			7	1	4	4	1	1																			47	13
昭和50年第 6回	6	2	7	2	1	2	1	2		8	1	6	2	1																				41	8
昭和51年第 7回	7	4	4		2	1		1	1	1		2		1																				24	7
昭和52年第 8回	8	2	5	1	3					1	1	4	1				1				1													28	8
昭和53年第 9回	3	1	4	1	2					1		2	2																					16	7
昭和54年第10回	4	2	5		5	2	1			2		5	1									1												28	10
昭和55年第11回	4	2	2	1	1	1							1		1																			13	5
昭和56年第12回	7	2	3	1	3	2		1				3	2	1								1												26	7
昭和57年第13回	3	1	3		3	2				1		1	1			1																		16	6
昭和58年第14回	7	2	4	1	3	3		1		1		2	1	1								1												27	8
昭和59年第15回	10	1	4	1	2					2		1	2																					23	11
昭和60年第16回	6	0	2		1					1			2		1																			13	6
昭和61年第17回	5	2	1		2	1	1			1		1			1			1																16	6
昭和62年第18回	6	3	6	2	2	2		1	1	1		4	3	1	2																			34	7
昭和63年第19回	7	3	2		2	1				2		2	4						1										1					25	8
平成元年第20回	8	2	3	1		1						2	2																					19	8
平成 2年 第21回	6	3	1	1	3		1					6	3	1	1							1				1								28	11
平成 4年 第22回	7	2	6	1	2	1			1	1	1	5	4									1									1			33	9
平成 5年 第23回	6	2	6		1	2				3		5			2							1	1									1		30	9
平成 6年 第24回	4	0	2									2																						8	5
平成 8年 第25回	2	0	2	1	1	1				2		4	1	1																				15	5
平成 9年 第26回	3	0	3									2	2	1	1												1	1						14	5
平成10年第27回	6	3	4									4	1																					18	7
平成11年第28回	5	3	3	1								3	1	1																				17	6
平成12年第29回	6	2	2		2	1				1		2	1								1		1	1										20	8
平成13年第30回	2	1	3		1						1	1	3		1															1				14	6
平成14年第31回	3	2	1	1	2						1	2	2									1												15	6
平成16年第32回	5	1	3					1		1	1	3	2									1												18	6
平成17年第33回	2	1	1		1							2	3										1											11	5
平成18年第34回	2	0	2		1							4	2																					11	5

区分	アメリカ	カナダ	イギリス	フランス	西ドイツ（ドイツ）	スイス	オーストリア	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	デンマーク	スウェーデン	ノルウェー	フィンランド	アイルランド	ポーランド	ハンガリー	ユーゴスラビア	ポルトガル	ブルガリア	オーストラリア	ニュージーランド	インド	タイ	スリランカ	マレーシア	インドネシア	ケニア	スロベニア	メキシコ・ブラジル	ロシア	韓国	延人員	実人員
平成19年第35回	4		1							1		2										1												9	5
平成20年第36回	5	1	1									3	2										1											13	5
平成21年第37回	1	4	2		1							3	2		1																			14	5
平成22年第38回	4	1			1			1				4	1		1																		1	14	5
平成23年第39回	4	1	3							1		2	1										1											13	4
平成24年第40回	3		1		1				1			3																					1	10	4
平成25年第41回			2	1	2					1	1	2	3		1							1												14	4
平成26年第42回	1	2				2	1					2			1							2	1											12	4
平成27年第43回	3	1	2				1								2								1											10	4
平成28年第44回	2	1	1					1				2										1												8	2
平成29年第45回	2	2	1		1							2																						8	2
平成30年第46回	3	2			1								2									1	1											10	3
平成元年第47回	2		1		1		1			1		1			1	1															1			10	3
合計	217	65	149	28	86	43	12	16	4	54	9	137	82	14	25	2	1	1	1	1	2	14	8	3	1	1	1	1	1	1	2	1	2	986	322

(3) 海外研修生 所属施設種類別･職種別人員実績（昭和45年～令和元年）

（施設種類別）

施設区分	研修生（人）
身体障害者更生施設	19
身体障害者療護施設	3
身体障害者授産施設	14
視覚障害者情報提供施設（点字図書館等）	11
知的障害者更生施設	24
知的障害者授産施設	10
知的障害者通勤寮	1
肢体不自由児施設	31
重症心身障害児施設	23
知的障害児施設	27
児童養護施設（養護施設・虚弱児施設）	31
情緒障害児短期治療施設	3
母子生活支援施設（母子寮）	5
乳児院	5
保育所	27
盲ろうあ児施設	1
特別養護老人ホーム	49
養護老人ホーム	10
養護（盲）老人ホーム	3
軽費老人ホーム	4
老人ﾃﾞｲ･ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	2
救護・更生施設	4
精神障害者小規模作業所	1
特定非営利活動法人（NPO）	5
その他	9
合計	322

（職種別）

職種区分		研修生（人）
指導員等	生活指導員	105
	職業（作業・訓練）指導員	5
	児童指導員	53
心理判定員		12
理学療法士 PT		29
作業療法士 OT		12
言語聴覚士 ST		5
介護職員		12
保育士		34
医師		14
看護師		8
相談員（カウンセラー）		5
その他	歩行訓練士	2
	精神保健福祉士	1
	点字指導員	7
	栄養士	5
	ケアマネージャー	2
	コミュニティワーカー	4
	ケースワーカー	1
	ソーシャルワーカー	1
	介護支援専門員	3
	他	2
合計		322

(4)　海外研修生 県別人員数　(昭和45年～令和元年)

県	人
北海道	6
青森県	2
岩手県	1
宮城県	2
秋田県	2
山形県	1
福島県	
茨城県	1
栃木県	1
群馬県	5
埼玉県	16
千葉県	14
東京都	53
神奈川県	18
新潟県	2
富山県	2
石川県	1
福井県	2
山梨県	2
長野県	1
岐阜県	2
静岡県	3
愛知県	3
三重県	
滋賀県	
京都府	3
大阪府	25
兵庫県	17
奈良県	4
和歌山県	5
鳥取県	3
島根県	3
岡山県	11
広島県	5
山口県	1
徳島県	1
香川県	5
愛媛県	1
高知県	2
福岡県	3
佐賀県	6
長崎県	2
熊本県	2
大分県	5
宮崎県	2
鹿児島県	3
沖縄県	5
計	254

政令市	人
札幌市	6
仙台市	
さいたま市	
千葉市	1
横浜市	1
川崎市	1
相模原市	1
新潟市	
静岡市	
浜松市	
名古屋市	2
京都市	4
大阪市	24
堺市	2
神戸市	10
岡山市	2
広島市	2
北九州市	9
福岡市	3
熊本市	
計	68
合計	**322**